

令和元年度第1回大人のためのブックトークを開催しました

令和元年5月25日(土)、第1回目の「大人のためのブックトーク」を開催しました。今年度最初のブックトークも、小林昌廣教授による聞きごたえ満点のトークで幕開け！平成のベストセラーから、日本の文化を考えたいような本まで盛りだくさんでした。

小林 昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク

<当日の紹介された本>

「観光亡国論」

アレックス・カー／著、清野 由美／著
中央公論新社 (2019年)

「筆蝕の構造」

石川 九楊／著 筑摩書房 (2003年)

「さようなら、ゴジラたち 戦後から遠く離れて」

加藤 典洋／著 岩波書店 (2010年)



岐阜県図書館 渡辺 基尚 主査による おすすめ本の紹介

<当日の紹介された本>

「ソフィーの世界 哲学者からの不思議な手紙」

ヨースタイン・ゴルデル／著、池田 香代子／訳
日本放送出版協会 (1995年)

「バカの壁」

養老 孟司／著 新潮社 (2003年)

「応仁の乱 戦国時代を生んだ大乱」

呉座 勇一／著 中央公論新社 (2016年)



○感想等

- ・「筆蝕の構造」にたいへん興味をひかれました。私は自分の字がヘタなのがイヤで、小学生の頃にワープロを覚えたんですが、それで自分の書をなくしてしまったのかも。